

市長と語ろう！笠間タウントーキング 第4回 議事録

開催日時 平成22年7月4日（日） 午後7時～8時30分
開催場所 市民センターいわま 3階 会議室
参加者 市民 22人

《フリートーク（意見交換）》

1. 岩間中学校の体育館耐震工事について
2. 笠間南小学校の自転車通学児童の安全確保について
3. 岩間駅西口広場の整備について
4. 太陽光発電助成事業について
5. 笠間市の人口について
6. 道路整備事業の情報提供について
7. 検討委員会について
8. かさまっ子プロジェクトについて
9. ファミリーサポート事業について
10. 公共施設の利用について
11. 笠間市の方向性について
12. 広報について
13. 行政区の加入について
14. 意見
15. 道路わきの枝払いについて

《内容》

1. 岩間中学校の体育館耐震工事について

【意見等】

岩間中学校の体育館の改修を予定していると聞いたが、今年度耐震工事は実施するのか。また、実施するのであれば何月を予定し、どのような工事になるのか。

【回答】

秋には耐震補強工事を始める予定です。体育館は、枠組みが鉄骨でできているのでそこを補強していきます。床面を改修することはありません。大規模な改修ではなく耐震補強ですので、体育館を使用しながら工事を行います。

2. 笠間南小学校の自転車通学児童の安全確保について

【事前質問と回答】

質問番号13 笠間南小学校の自動車通学について

手越地区から通う小学生は1年生から自転車通学が義務となっている。この通学路は、山あり、坂あり、急カーブ・踏み切りありの大変危険な道路で、そのうえ朝は、通勤の車もたくさんあり、飛ばしてくる車もある。大きな学年の児童が、小さな学年の児童をみて連れて行くのだが、小さな児童の自転車は歩みが遅く、年長児童に迷惑がかかってしまう。地域の大人たちが、見守り隊としてみればよいとの意見もあるが、これも限度がある。もし事故等がおきてしまったら、責任問題へと発展しかねない。せめて、体力がつく4年生になるまででも、バスか、または人数が少ないときには、デマンドタクシーのようなものでも出してほしい。

回答（担当課：学務課）

本年度、手越地区より自転車通学している児童は9名おり、うち2年生が2名、3年生が1名、4～6年生が各学年2名ずつとなっております。

ご指摘のとおり、手越地区からの通学路については、車歩道の区別が無く、見通しの悪い場所もあり、安全については危惧されるところであります。しかしながら、道路の拡幅や道路改良については、現在のところ計画が無く、ハード的な解決法は困難な状況です。登下校の安全については、児童に対して交通安全の指導を行い、啓発看板を設置するとともに、地元の方々と協力して安全の確保に努めていきたいと考えております。

なお、スクールバスの運行についてでございますが、南小学校をはじめ、市内の多くの学校で遠距離通学児童がおり、新たに運行する場合には複数の路線を運行することとなり、財政状況から運行は大変厳しい状況にあります。また、デマンドタクシーの運行につきましても、一般の方々を広く対象として運行されているため、時間を制限するような利用は好ましくないと判断されますので、ご理解をお願いいたします。

【意見等 1】

事前質問 1 3 の笠間南小学校の自転車通学についてだが、手越地区は山や川、坂、踏切、急カーブと大変危険なところがある。そこを小学校一年生から通学するのはとても危険である。地域の大人たちが連携して見守るといことも考えられるが、3年生くらいまででもよいので、デマンドタクシーを出すことは難しいのか。

【回答 1】

昨年度、茨城町で小学校一年生の事故があったときに、早急に自転車通学の調査を行いました。その結果、県内で笠間市が一番自転車通学の子どもが多く、特に笠間地区に多いということがわかりました。デマンドタクシーの使用の件ですが、笠間市内には、自転車通学の児童が大勢おりますので、全体を均等にとすることは困難です。特に登下校の時間帯は、一般の利用者と競合してしまうので難しいです。

現在、学校の適正規模・適性配置検討委員会で検討しておりますが、子どもたちの通学も合わせて検討していきたいと思っています。

【意見等 2】

朝の通勤時間帯にスピードを出す車がたくさんあるので、朝の通学の時間帯だけ車両通行止めの標識を作っていただきたい。

【回答 2】

他の地区では、通行止めをしているところがありますが、手越地区は、警察と地元の方たちとの話し合いで、その道を通らなければならない方が多く、他に迂回路もないので難しいということでした。こちらも、もう一度学校の現場と相談しながら考えていきたいと思っています。

3. 岩間駅西口広場の整備について

【意見等】

岩間駅西口の広場は、あまり活用されていないように感じる。どのような目的で造られたのか。また、月 1 回バザーが開かれているが、雨が降ると水溜りができる。簡易舗装などの整備はできないのか。

【回答】

現在、岩間駅西口の広場は月 1 回のバザーで使用しているだけで、他にはほとんど使っていません。広場は合併前に造られましたが、友部駅の北口と同様に民間活用の検討をしているところです。現在の利用頻度を考えると舗装は難しいです。

4. 太陽光発電助成事業について

【意見等】

太陽光発電助成事業は、大変好評で 9 月の補正予算で追加補正をすると聞いた。1 キロワット当たり 6 万円では金額が大きいので、3 万円にして補助金の件数を増やしてはどうか。

太陽光発電は、学校などでも設置を検討してほしい。

【回答】

今年から、太陽光発電の補助事業とエコキュートの補助事業を開始しました。こちらの原資になるお金は、皆さんに購入していただいているゴミ袋の積み立てから市民の皆さんに還元するということで、使わせていただいています。すぐに枠がいっぱいになってしまったことから、住民の皆さんからの要望が多いということがわかりましたので、さらに 9 月の補正予算で組んでいきたいと思っています。

太陽光パネルの公共施設への設置ですが、市民病院に設置しました。また、笠間市本所の駐車場にも設置する予定で進めています。学校は市内に 21 校ありますが、学校の予算については、耐震化を優先に進めています。太陽光パネルの設置は今のところは考えていません。

5. 笠間市の人口について

【意見等】

「わかりやすいかさまの予算」の2ページには平成22年2月28日現在住基人口80,440人とあり、ミニ統計かさまの人口は平成22年1月1日現在79,647名となっているが、人口が増えたと錯覚するがどういうことなのか。

また、ホームページで見たのだが、合併するときに笠間市の基本計画で人口8万4千人を目標としてあったが、どうなっているのか。

【回答】

合併時に笠間市の総合計画を作成し、10年後には人口8万2千人を目標として計画しています。現状の人口についてですが、どの統計を使用するか、住民票の登録によるのか、国勢調査をベースにするのかによって、若干違いがあります。できるだけ、統一していきたいと思えます。

6. 道路整備事業の情報提供について

【意見等】

昨年の市政懇談会で、合併特例債の使いみちと今後の予定を分かりやすく伝えてほしいという要望をしたら、広報かさまの2月号に載せていただいた。半数以上が道路整備事業に使用しているという説明があったが、その道路について何級何号線という表現しかなかった。そういった表現は市民にはわからないので、注釈や地図をつけるなどしていただきたい。

【回答】

路線番号は、岩間であったら「市道岩」や（岩）とつき、各地区で番号がつけられています。確かに、分かりにくいと思えますので、公表する際には、地域や地区を載せるようにします。

7. 検討委員会について

【事前質問と回答】

質問番号14 検討委員会について

市では現在、次の検討委員会を行っている。

- ①支所のあり方検討委員会
- ②笠間市補助金等検討委員会
- ③笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

検討委員会を行うということは、何らかの問題があり、行政として改善が必要なため、行うものと思うが、検討委員会の答申を待つのではなく、どう問題を捉えどうしたいのか市長としての考えをお尋ねします。

回答（担当課：行政経営課・財政課・学務課）

「支所のあり方検討委員会」ですが、市の行政事務につきましては、旧友部町役場を本所とし、旧笠間市役所及び旧岩間町役場を総合的な機能を有する支所として市民サービスの提供を行っております。

支所の業務としては、市民サービスの低下を招かないことを基本として、必要な組織及び職員を配置しておりますが、支所におけるサービス利用状況の変化や、地方自治体を取り巻く厳しい環境の中で、持続可能な行政運営を確保するため、組織のスリム化や職員削減など、さらなる行財政改革が不可欠な状況にあります。

これに加え、笠間支所庁舎に関しては、老朽化が顕著であり、耐震性に大きな不安を抱えていることから、早急な耐震補強あるいは改築が求められています。

そこで、「市民が真に必要とする支所サービスとは何か」「老朽化した笠間支所をどう考えていくか」について、市民の視点から検討をしていただくため、本年3月に検討委員会を立ち上げ、費用対効果を含めて将来的にどうあるべきかを検討していただいているところであります。

次に、「笠間市補助金等検討委員会」につきましては、市が公益的な活動を行っている市民団体等の活動費用に対して支出する補助金について、平成18年度から平成19年度にかけて民間の委員6名からなる「補助金等検討委員会」を設置し、客観的な視点から補助金適正化に向けた提言をいただき、この提言を基本に適正な補助金支出に努めてまいりましたが、見直しから3年経ち、その見直し状況を検証していただくとともに、補助金のより一層の適正化を図るため定期的な見直しを行う必要があると考え、今年度再び検討を行うこととしたものです。

また、「笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会」につきましては、全国的な少子化によって児童生徒が減少

し、笠間市でも1学年1学級という単学級を有する学校が全体の半数近くを占めており、このことは、児童生徒の集団活動という観点からも多くの影響を及ぼすことから、昨年、検討委員会を立ち上げ学校適正規模、学校の適正配置について検討していただいているところです。

ご質問のあった3つの検討委員会の他にも、現在、保育所施設整備計画、児童館建設、保育料、協働のまちづくりなどについて検討を行っているところですが、さまざまな行政課題の解決のためには、検討委員会などを通じ、議論の透明性・公平性を確保したうえで、多くの意見を幅広く伺い、その課題をいろいろな方向から検討し、市民の皆様の十分な理解を得たうえで課題解決の方向性を定めてまいりたいと考えております。

【意見等】

事前質問14の検討委員会について要望したい。

①支所のあり方検討委員会について

検討委員会で審議された内容が4月から反映されると聞いているが、その際には職員の教育をぜひやっていただきたい。また、職員の配置についても十分配慮をお願いしたい。

②笠間市補助金検討委員会

かなりの数の団体が補助金をもらっているわけだが、実態は今まで出していたからという理由で継続している場合がある。本来は自立し、補助金に頼らないのが基本だと思う。貴重な税金を使うので、補助金の交付見直しのような補助金の制度改革に着手する必要があるのではないか。

③笠間市立学校適正規模・適正配置検討委員会

小中学校の適正規模・適正配置がまとまりつつあり、小中学校区審議会が設置されるようである。その中では、具体的に学区の見直しや学校の統合という話になってくると思うが、ぜひ、地域の住民と十分に話し合いをして、住民が理解し協力してくれるような方法で取り組んでいただきたい。

【回答】

以前は行政の中で意思決定をしていましたが、現在は、市民の意見を幅広く聞き、政策に反映していこうと努力しています。そうした中で検討委員会を設置することは、幅広く市民の意見を聞くことができるということと、政策決定の透明化ということの二つの利点があります。最終的には、検討委員会から答申をいただきますが、すべて実施されるわけではなく、議会と議論する中で若干変わってくるものもあるということをご理解いただきたいと思います。検討委員会を立ち上げる際には、各団体の長や団体から推薦いただいた方、学識経験者や地域の代表、議会の代表などさまざまな方面の方に委員になっていただいています。委員会によって異なりますが、構成人数は5名から20名程度です。そして、委員会の運営は原則公開で行っており、途中経過の議論についてもホームページ等を通じて公開しています。市民の皆さんには、こういった議論に関心をもっていただき、意見をいただきたいと思います。

①職員数は合併時から、約70人減り現在は760人です。今後も減っていきますので、その中で支所が今と同じ体制でよいのか、違う体制でも住民の皆さんに対して効果的にサービスができるのではないかと支所のあり方についても検討していただいているところです。サービスの中には、本所でサービスを受けたほうが、より細かく機能的に受けられる事業もありますので、さまざまな検討を進めているところです。

②補助金の検討委員会は、3年間実施してきました。新しい補助金も増えていますが、一方で廃止したものもあります。公共性が高い事業については、事業補助が必要であるという考え方を基本的に委員会内で交付基準等、議論をしていただいています。

8. かさまっ子プロジェクトについて

【意見等】

「わかりやすいかさまの予算」10ページの写真に載っている「子育て支援くりのこ」で手伝いをした際に、お母さん方から、月・水・金だけでなく毎日やってもらえないだろうかという話があった。「かさまっ子プロジェクト」に事業費として206万6千円という新規の予算が出ているので内容をうかがいたい。

【回答】

「わかりやすいかさまの予算」10ページの206万6千円という予算は、ファミリーサポート事業に対する予算です。ファミリーサポート事業は、小さなお子さんを育てている方で、買い物の時間などに、ちょっと預けたいという方と預かってもいいですよという方をつなぐ事業です。

現在、子育て支援センターは岩間と笠間に一箇所ずつあり、たくさんの方に利用していただいています。それを毎日ということになりますと、費用や人数の確保が問題となってきます。今後利用状況をみて考えていきます。ご要望として承っておきます。

9. ファミリーサポート事業について

【意見等】

子どもが3人いるお母さんに聞いた話だが、お兄ちゃんが病気になり、赤ちゃんをみてほしいということで子育て支援をお願いしたところ、お願いしたい方はたくさんいて、預かってくれる方がいないということで断られた。そのように需要と供給のバランスが悪い。私のように子育て・孫育てが終わった人が登録してもよいのだろうか。車の運転ができないので迷っている。

【回答】

子育てをされている若い世代の方々と、懇談会を行ってきましたが、1、2時間くらいの間、子どもを預けたいという話がありました。そういった声を受け、以前から社会福祉協議会で一部行っていました事業を、市の事業として今年度から始めました。車が運転できなくても、ご近所にそういった要望のある方もいらっしゃるかもしれませんので、ぜひ、登録をしていただきたいと思います。

10. 公共施設の利用について

【意見等】

商工会の女性部でふるさとまつりの時に、アップルパイを作るために公民館の調理室を無料で借りたが、2回目、3回目に借りた時にはよい顔をされなかった。公共的な場合はクライנגルテンや公民館等の調理室を貸してもらえないだろうか。

【回答】

公民館の利用につきましては、規約に基づいて開放しています。学校の調理室も開放しており、公共性のある場合はご利用できますので、教育委員会の方へご相談ください。

11. 笠間市の方向性について

【意見等】

市長は、今後、笠間市をどういった方向にもっていきたいのか。

【回答】

行政サービスを市の自己決定に基づき、自己責任で行っていく地方自治体にしていきたいと思えます。また、地方自治体として自立できるような都市を目指したいと考えています。自立には、産業、財政、教育、食などありますが、笠間市には、産業と教育の自立が弱点であるように思います。産業の自立のために企業誘致を、教育の自立は・・・難しいのですが、公立と私立といったいろいろな競争ができたらと思っております。

笠間市は、3つの市と町が一つになりましたので、それぞれに合った地区の発展が必要と考えております。笠間地区は、観光を中心としたまちづくりが基本だと思えます。そして、友部地区は、交通の利便性が非常に良く、人口が横ばいということを考えますと、住環境の整備が必要と考えています。住環境の整備とは、狭い道路や公園の整備、また下水道の整備といったインフラ整備を考えております。岩間地区には、立派な工業団地があり、工業の部分と、栗や梅の栽培といった農業の部分があります。以前、岩上知事が鹿島の開発をするときに茨城県を「農工両全」と言いましたが、岩間地区にはそういったイメージで地域づくりを行いたいと考えています。

12. 広報について

【意見等】

笠間市を発展させていくために、市長をはじめ行政と地域住民が活動している場面を広報することが必要であると思う。笠間、友部、岩間と一緒に発展していくために今まで以上に、広報に力をいれてほしい。

【回答】

他の市町村に引けをとらない、さまざまな事業を行っておりますので、どう情報発信していくかは一つの課題だと思っています。茨城県はPRが下手であると言われておりますので、広報体制を充実させようとしているところです。市でも、情報を積極的に流していきたいと考えています。

1 3. 行政区の加入について

【意見等】

区に未加入の世帯が何軒かあり、困っている。未加入者にはどういった対応をしたらよいか、教えてほしい。

【回答】

行政区に加入しない方がいるのは、課題となっています。消防費、社会協議会の会費等払わずに、行政、地域のサービスを受けるのはおかしいというご意見が出るのも、もったいものであると思っています。しかし、強制的に転入者等に区に加入させるというのも難しいところです。

笠間は区長制度でお願いしており、今後も区長制度、行政区制度で進めていくつもりです。他の自治体の中には、行政区をやめて自治会制度にしているところもあります。自治会制度は自主的なものですので、関係者だけで組織するという制度です。また、会費を取らない代わりに、住民税を1,000円か2,000円上乗せをし、行政が徴収して一戸当たりいくらかで地元還元するという方法をとっているところもあります。その方法については、実質的な増税であるとかかなり批判があったようです。どういった方法が良いのか、検討委員会で議論していきたいと思います。

1 4. 意見

【意見等】

- ① 行政区については、加入すると補助金がもらえて、加入しない人にはサービスをしなければいけないと思う。
- ② 項番6の意見の道路の説明については、注意書きやかっこ書きで地区を入れたり、※1、※2のようなものをつけたりして場所が特定できるようにすればいいと思う。
- ③ 笠間市には、産業もサービスも魅力ある風景もあるバランスの取れた発展をお願いしたい。
- ④ 項番2の意見の道路の整備については、まずは現地の調査をし、運転者に注意を促す標識を立てたり、スピードが出せなくなるような工夫をしたりしてほしい。それらと平行して交通指導を徹底的にやってほしい。
- ⑤ 企業・産業の誘致については、高速道路に広告を出しているのを見かけるが、注意が散って危ない。無理に道路上に設置せずにサービスエリアやパーキングエリアに広告を出したらよい。

【回答】

参考にさせていただきたいと思います。

1 5. 道路わきの枝払いについて

【意見等】

大型バスが入ってくるが、道路わきの枝が伸びて邪魔であると聞く。観光客が来てくれるようにそういったところの枝を払ってもらいたい。

【回答】

道路によっては、歩道に枝が伸び、車の通行に支障があるところも実際にありますので、そういったところがありましたら、申し出てくだされば、対応していきたいと思っています。